

中国史跡探訪の旅



中国の文化、歴史に触れる探訪の旅を年1回行っています。今年は、辛亥革命100周年にあたり、長崎歴史文化博物館で開催されている『孫文・梅屋庄吉と長崎』展、長崎市内の中国史跡を訪問。

平成23年11月12日(土)8時半出発
崇福寺⇒梅屋庄吉の碑⇒唐人屋敷⇒長崎孔子廟・中国歴代博物館⇒昼食(四海楼)
⇒長崎歴史文化博物館「特別企画展」



寛永六年渡来した唐僧超然が官許を得て寛永九年創建。檀家に福州出身が多いことから「福州寺」とも呼ばれる。他に「興福寺」「聖福寺」が有名。



崇福寺大雄宝殿(国宝)にて参拝



崇福寺第一峰門(国宝)前で記念撮影



長崎孔子廟大成殿前・横に立ち並ぶ孔子の高弟72賢人の石像。石像は等身大で重量1,8トン。史実に基き北京美術工場で彫刻されたもの。



1899年(明治32年)創業の中華料理店『四海楼』で昼食。長崎名物「ちゃんぽん」は、この店の店主が貧しい留学生の為に作ったことが始まりとか。



孫文(中央)と梅屋庄吉夫妻



長崎歴史博物館内で記念撮影



唐人屋敷、福建省館敷地内にある孫中山銅像。明治30年に改装され、福建省出身者により建てられ福建省会館と名称された。



崇福寺三門(楼門)国指定重要文化財

佐賀地区・小城地区日中の共催で長崎市の中国ゆかりの地探訪の旅に出かけました。

まずまずの天気、総勢19人は唐人屋敷跡や長崎孔子廟歴代博物館などを視察。最後は、長崎歴史文化博物館で開催されている「孫文・梅屋庄吉と長崎展」を観覧。辛亥革命から100年の歴史に思いを寄せ、これからの日中両国の友好発展を誓いました。佐賀地区理事 山田陸三